

## 2024年度地域医療セミナー 開催要項

テーマ「成長し続ける地域医療をめざして

～人員の確保と労働環境の改善にむけて～

<趣旨>

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5月8日から5類に見直されて以降、コロナ前の生活が徐々に戻りつつあります。一方で、新興感染症への備えや安定した地域医療を提供が求められています。そのためには、医療従事者の処遇と労働環境の改善が不可欠です。

総務省は、2022年3月に「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を公表し、2024年3月末までにすべての公立病院に「公立病院経営強化プラン」の策定を求めています。医療従事者も、国が求める公立・公的医療機関のあり方と病院経営理を理解し、現場で働く労働者の視点から課題解決にむけた取り組みを進めていく必要があります。

労働環境の改善には、人員の確保はもちろん、賃金の改善、労働時間の適正化、教育・研修制度の充実、各種ハラスメント対策などが必要です。また2024年4月から医師の時間外労働時間規制が実施されます。医師の働き方は他の医療関係職種へも影響を及ぼすことから、労働時間の適正把握と自己研鑽と労働時間の明確化を行わなくてはなりません。

地域医療の担い手である私たち職員が働き続けることができなければ、地域医療は成り立ちません。本セミナーを通じて、公共サービスとしての医療の役割や最新の医療政策を学び、病院経営も注視した上で、人員確保や労働環境の整備等、組合員が抱える課題解決にむけ、交渉力の底上げにつなげたいと考えます。

### **【第1日目(全体会)】 2024年2月23日(金・祝) 13:00～17:45**

12:30～13:00 受付開始・接続テスト

13:00～13:15 開会・あいさつ(小森議長、山崎副委員長)

13:15～13:45 情勢報告と基調提起

衛生医療評議会事務局長 平山春樹

13:45～15:15 講演「アフターコロナの時代の自治体病院」

城西大学経営学部マネジメント総合学科 教授 伊関 友伸さん

15:15～15:30 休憩

- 15：30～16：30 「医療現場における AI・ICT 活用の展望」  
NTT データ経営研究所 土屋 裕一郎さん
- 16：30～17：00 報告「広島県立病院再編統合に対する取り組み」  
広島県病院局職員労働組合 栗田 博正さん
- 17：00～17：30 国会レポート「衛生医療評議会に関連する活動報告」  
自治労協力国会議員 参議院議員 岸 まきこさん
- 17：30～17：45 まとめ・休会

## 【第2日目(分科会)】 2024年2月24日(土) 9:30～13:00

### ◆ 看護師分科会「看護師の負担軽減について考える～今こそ看護師の業務を見つめなおそう～」

#### <趣旨>

2019年4月以降、働き方改革によって多くの業種で時間外労働時間の上限が設けられましたが、一部の業種では上限規制の適用が猶予されていました。医師に関しても勤務形態の特殊性等を考慮し猶予されていましたが、2024年4月からは医師にも時間外労働の上限規制が適用されます。

良質かつ適切な医療を、効率的に提供する体制の確保を推進するため、医師の働き方改革にともなうタスク・シフト/シェアの推進がより一層求められます。これにより医師の業務が看護師や薬剤師をはじめとする他の医療従事者に業務移管されることとなります。

タスク・シフト/シェアは、特定行為研修を修了した看護師や診療看護師等の配置により医師の業務負担が軽減されるだけでなく、業務の効率化や医療従事者が専門性をより発揮できるというメリットがあります。一方で、シフトされる側の業務負担増が懸念されます。とくに看護師においては人員不足や長時間労働、サービス残業が大きな課題となっていることから、タスク・シフト/シェアを進めるためには看護師の業務を見直し、業務の精選と他職種への看護師業務の移管を検討することで看護師の負担軽減をはかっていく必要があります。

上記の課題に対して、日本看護協会の講演と看護問題対策委員会からの提起を基に、グループワークを行い、現場の情報交換・意見交換を行いながらタスク・シフト/シェアにどう取り組むかをディスカッションすることで労働環境改善にむけた運動につなげていきます。

#### <スケジュール>

- 9：00～9：30 会場受付
- 9：30～9：40 開会・あいさつ
- 9：40～10：40 講演「看護師の業務負担軽減とタスク・シフト/シェア」

日本看護協会 労働政策部看護労働課 奥村元子さん

- 10：40～11：10 看護問題対策委員会提起  
(休憩)
- 11：20～11：30 グループワーク
- 12：30～12：50 グループワーク報告
- 12：50～13：00 まとめ・閉会

◆ 医療政策分科会「地域に必要とされる医療提供体制を考える  
～再編統合の現状と課題～」

<趣旨>

地域医療提供体制の確立においては、地域のニーズに焦点を当て、どのような医療提供を求められているかを知る必要があります。現状の課題としては、医療のリソースの不均衡や高齢化による需要の増加があげられます。これらの課題に対し、適切な医療提供体制を確保するために、効果的な連携や情報共有、システムの整備が必要です。

地域医療の維持のため、公立病院は直営による運営が基本となります。しかしながら地域の事情等により再編統合や経営形態の見直しが進められている地域があります。地域医療を守るために、私たちは現在の職場で働き続ける必要があります。そのためには、まずは働いている私たちの声を反映させ、労働条件や労働環境の改善が必要です。

この分科会では公立病院の役割や現在の地域に求められている医療について理解し、パネルディスカッションを通し再編統合と経営形態見直しの課題について議論を深める機会にしたいと考えています。

<スケジュール>

- 9：00～9：30 会場受付
- 9：30～9：35 開会・あいさつ
- 9：35～10：45 講演「公立病院の機能分化・連携強化と経営形態について」  
総務省自治財政局準公営企業室 齋藤 聡さん
- (休憩)
- 11：00～11：45 公立病院の再編統合に関する現場報告  
「新潟県立病院再編に対する取り組み」  
新潟県本部 新潟県職員労働組合（新潟県立中央病院） 大嶋 友範さん  
「滋賀県湖北地域の病院再編問題の経緯と現状報告」  
滋賀県本部 市立長浜病院労働組合 辻 雅之さん  
「宮城県立病院再編統合に対する取り組み」

宮城県本部 宮城県立病院機構労働組合（宮城県立がんセンター） 塙 ゆかりさん

11：45～12：50 パネルディスカッション

12：50～13：00 まとめ・閉会

◆ コメディカル分科会「労働基準法守れていますか？職場の適正な運用をめざして」

<趣旨>

新型コロナウイルスの5類への見直し後も、医療現場の身体的および精神的な負担は依然として重いままです。この状況下で、医療現場における労働基準法の適切な適用と遵守は、医療従事者が健康で働き続けるために不可欠です。

休憩時間の不足、不払い残業、緊急時の呼び出し、宿日直など、職場のルールが労働基準法に則っているかどうか疑問や不安を抱える方も多いのではないのでしょうか？日々の業務が法律の枠組み内で適切に管理されているかを理解し現状把握することは、職場環境を改善する上で重要です。

本分科会では、労働基準法の基本的な内容についての理解を深め、医療現場における課題について情報共有と意見交換を行い、これら課題を改善するための契機とします。

<スケジュール>

9：00～9：30 会場受付

9：30～9：35 開会・あいさつ

9：35～10：35 コメディカル委員会提起

「時間外労働について」

富山県本部 富山県職員労働組合（富山県立中央病院） 竹本 昌平さん

「緊急呼び出し、労働時間管理について」

千葉県本部 千葉市職員労働組合（千葉市立青葉病院） 藤崎 和仁さん

「労働と自己研鑽について」

島根県本部 雲南市立病院労働組合 神田 治さん

「宿日直制度について」

東京都本部 日野市職員組合（日野市立病院） 比留間 俊也さん

10：35～11：35 パネルディスカッション

（休憩）

11：45～12：45 グループワーク

12：45～13：00 まとめ・閉会